

➡ は、学習指導要領や教科書等に内容が示されており、指導することも考えられる。

➡ は、児童・生徒や学校の実態に応じて、指導することも考えられる。

中学校	高等学校
効果的なインタビューをし、必要な情報を収集することができる。	
教科書や資料集、新聞等、多くの情報収集手段を活用して情報を集めることができる。	図書館等のデータベースへのアクセスによるオンライン検索や電子辞書等のオンディスク検索を利用して、必要な情報を収集することができる。
複数の検索エンジンを用いて、キーワードを自分で考えて、検索することができる。	検索エンジンの種類を使い分けながら、AND・OR・NOT検索を組み合わせ、効率的に検索をすることができる。
画像(静止画)をコンピュータに取り込み、加工・編集することができる。	コンピュータを利用して、二つの画像を合成することができる。また、動画の編集をすることができる。
テーマに基づいて、作文やレポートを書くことができるとともに、マウスを使って効率的な編集を行うことができる。	キーボードのキーの機能(ショートカットキーやファンクションキー)を使い分け、タッチタイピングで作文やレポートを作成することができる。
コンピュータを活用して、集めた情報を適切な表やグラフにまとめることができる。	グラフタイトルや項目、凡例などを挿入し、分かりやすいグラフを作成することができる。
デザイン等を考えながらWebページを作成することができる。	ウェブアクセシビリティに配慮したWebページを作成することができる。
コンピュータを活用して、相手に分かりやすい表現で発表することができる。	発表に合わせた配布資料等を用意し、手で参考にしてもらうなどの工夫をして発表をすることができる。
ファイルを添付した電子メールの送受信をすることができる。	署名を付けた電子メールを送受信したり、To、CC、BCCを使い分けたりすることができる。
ソフトウェアの種類と機能を説明することができる。	オペレーティングシステム(OS)の役割を説明することができる。
周辺機器の種類と機能を説明することができる。	周辺機器を組み合わせる手順を説明することができる。
インターネットの特徴や仕組みを説明することができる。	IPアドレスやDNSサーバの役割などWWWによる情報の閲覧の仕組みを説明することができる。
問題解決の方法や手順の要点を説明することができる。	目的に応じた問題解決の方法や手順を説明することができる。
コンピュータを用いることの長所・短所を具体的に述べるることができる。	コンピュータによる情報処理の特徴を人間とコンピュータの情報処理を対比させ、説明することができる。
マルチメディアの特徴と活用方法が分かる。	マルチメディアの利活用方法が分かり説明することができる。
コンピュータの主要構成要素(入力、記憶、制御、演算、出力)について、それぞれの役割を説明することができる。	コンピュータ内の情報処理の仕組みを説明することができる。
情報伝達手段の特徴が分かる。	情報伝達の仕組みと情報伝達方法の工夫を説明することができる。
情報の表現方法としての一次関数、二次関数のグラフの特徴が分かる。	情報の表現方法は一通りではなく、目的や条件に応じて使い分けられていることが分かる。
自分の発信する情報について、安全性やマナーの視点から見直し、より分かりやすい情報を発信しようとする。	重要な情報を発信する際には、暗号化したり、別的手段を用いたりしようとする。
個人情報に配慮して情報を発信しようとする。	個人情報の保護の重要性と個人の責任を意識した上で、情報を送受信しようとする。
情報の真偽を確かめながら情報を収集したり、発信したりしようとする。	情報の信頼性と信憑性を意識し、正確な情報を送受信しようとする。
インターネットや携帯電話を利用した犯罪があることを理解し、適切に対応しようとする。	個人認証や暗号化の必要性を理解し、インターネットや携帯電話を介した犯罪へ具体的に対応しようとしている。
情報モラルに反する情報に対し、基本的な対応の仕方が分かる。	情報モラルに反する行為の実態を知り、理解した上で防止策を討議し、適切に対応しようとする。
著作権・肖像権・知的財産権等の意味を知り、その権利に気を付けながら情報を加工しようとする。	著作権・肖像権・知的財産権等の内容を知り、それらの権利に配慮しながら情報を加工しようとする。